

▼ヨビパス皮下注ペン [注]

【重要度】 【一般製剤名】 パロpegテリパラチド Palopegteriparatide 【分類】 副甲状腺機能低下症治療剤 [PTH 製剤]

【単位】 ▼168 $\mu\text{g}/0.56\text{mL}$, ▼294 $\mu\text{g}/0.98\text{mL}$, ▼420 $\mu\text{g}/1.4\text{mL}$ [カートリッジ]

【常用量】 1回 18 μg から開始, 6~60 μg の範囲で調節 (増量幅は3 μg)

活性型ビタミンD製剤やCa剤で、血清Ca濃度が目安として7.8~10.6mg/dLとなっていることを確認してから開始

【用法】 1日1回皮下注

【透析患者への投与方法】

【保存期CKD患者への投与方法】

【特徴】 ヒトPTH (1-34)

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20251007

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。